



# 営農NEWS



## イチゴのハウス被覆前に、うどんこ病、炭疽病、疫病、ハダニ類などの病虫害防除を徹底しましょう

イチゴ栽培では、本圃への定植やその後の保温を開始する被覆の時期となります。今年は7月が曇りや雨の日が多く、中～下旬の気温は平年より低くなり、梅雨明けも8月1日にずれ込みました。しかし、その後は一転して高温少雨の日が9月中旬まで続いたことなど、この間のイチゴ株の育苗管理には大変ご苦労したと思われます。更には、これからは本圃の栽培管理に最善の注意が必要になります。

例年、ハウス被覆を始める前は、病虫害の防除を徹底する時期で、病虫害の発生を見逃して被覆を開始すると、その後の栽培期間中を通して、被害に悩まされる恐れがでてきます。

特に、うどんこ病やハダニ類は、近年、多発生傾向にあり、今後も発生には十分な注意が必要になりますし、台風や大雨の後などは突発的に炭疽病や疫病などが発生する恐れもありますので、この時期における病虫害の防除徹底に努めてください。

### <防除のポイント>

- 1) 初発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾および株元などを丁寧に観察し、発生を認めたら早期に防除を実施します。この場合、葉裏や下葉、株元等にも薬液がよくかかるよう丁寧に散布することが特に重要です。
- 2) 既に多発生した株または罹病葉や葉柄、果梗、果実を出来るだけ除去してから薬剤散布を行ってください。
- 3) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、ローテーション防除を行いましょう。

表1 イチゴうどんこ病の主な防除薬剤 (令和2年10月5日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
トリフミン水和剤	3,000~5,000倍	収穫前日まで / 5回以内	○	3
アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	7
イオウフロアブル	2,000倍	- / -	1日	M2
パンチョTF顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	○	3とU6
モレスタン水和剤	3,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	3日	M10

※その他、被覆後には硫黄粒剤のくん煙処理が可能です。その際は専用の電機加熱式くん煙器を利用してください。

表2 イチゴ炭疽病の本圃における主な防除薬剤 (令和2年10月5日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
サンリット水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日	3
ゲッター水和剤	1,000倍	収穫開始21日前まで / 3回以内	○	1と10
セイビアフロアブル20	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	○	12
ベルコートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 5回以内	○	M7
オーソサイド水和剤80	800倍	収穫30日前まで / 3回以内	1日	M4

表3 イチゴ疫病の本圃における主な防除薬剤 (令和2年10月5日現在)

薬剤名	希釈倍率および使用法	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
ランマンフロアブル	500~1,000倍液を100ml / 株で株元灌注	収穫30日前まで / 2回以内	○	21
レーバフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	40

表4 イチゴハダニ類の主な防除薬剤 (令和2年10月5日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
カネマイトフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 1回	○	20B
コロマイト水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	6
マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日	20D
コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	10日	13

注1) 各表のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病虫害防除指針(令和2年版)より抜粋しました。○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件により日数が前後することがあり、注意が必要です。

注2) 分類欄には、FRACまたはIRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040